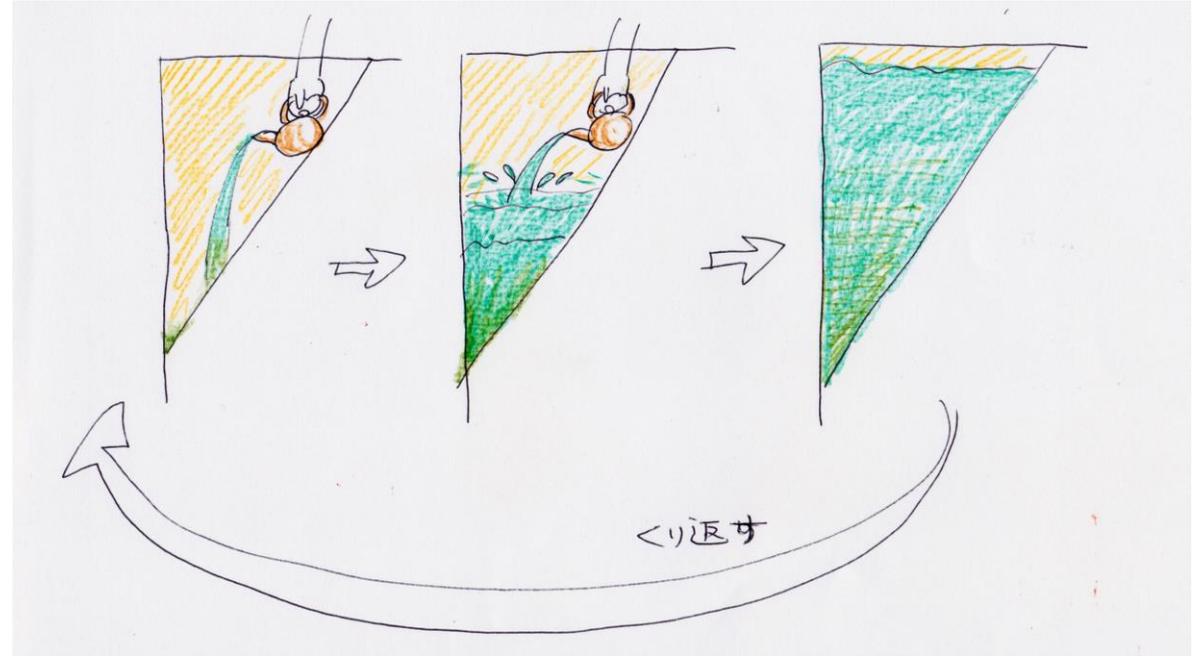




お茶の水アート・プロジェクション “Tea corner”

映像投影案



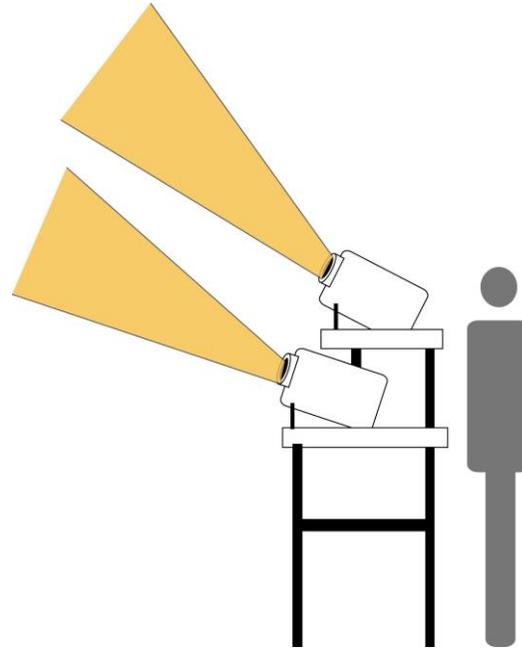
a. [映像の内容案]

- * 瀬川ビルディング東側壁面に、プロジェクター2台~3台を地上から壁面上部に斜めに投影し、複数台の投影で一つの巨大な画面を作るように設置する。
- * 映像の内容は、「茗溪」にちなんで急須を持つ手が上部から現れ、三角形の下部頂点（谷をイメージした形態）にむかってお茶を注いでゆく。お茶の水のグリーンの部分は次第に画面上部にむかって満たされ、最後にはビルの壁面の一角がグリーンの三角形として浮かび上がる。一回の繰り返しサイクルは1分~1分30秒。
- * お茶=グリーンの液体には何かモチーフなどを浮遊させ、繰り返しの中でバリエーションを作る可能性あり。
- * アートピクニックに訪れる客や通行人が、普段は気にしないであろうビルの壁面や、その空との境界などを印象付ける効果を期待したい。

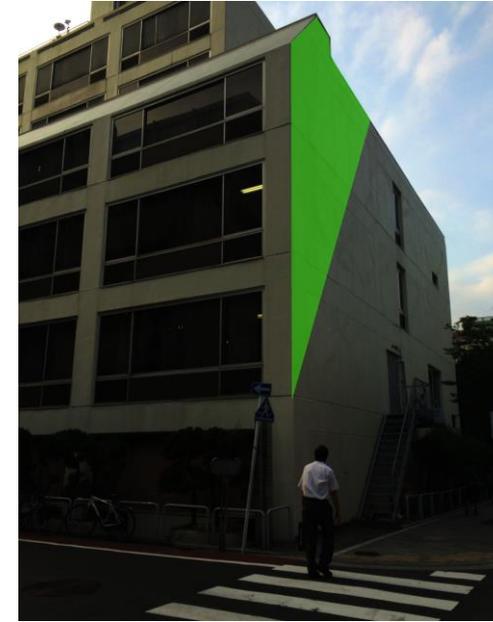
b. [映写の設置案]



投影の地図上の位置①



投影に必要な台の予想と投射角度①②



投影される映像の位置の予想図

条件その他懸案事項

- ① プロジェクターはビル壁面の道路を隔てた向かい側から建物の上に向けて投影できるのが望ましい。(通行人や交通に対して眩しくないように)
- ② 電源の確保と、プロジェクターを載せるテーブル (パソコン用のモニターなどが載るような台?) などが手に入るかどうか。
- ③ イベントより事前 (1週間前~10日) に夕刻~夜間の投影の実験を行う必要性有。
- ④ ビル壁面前などで人々が立ち止まる可能性あり→混雑時に交通整理あるいは立ち止まる場所を誘導するような係りが必要になる可能性有。

機材：ビデオ・プロジェクター2台~3台+パソコン1台 (瀧所有のもの)、電源ドラムケーブル (VCTに50mくらいのケーブル有)

作業用の手元明かり、